

◎特集

# 公共施設のあり方を 考えてみませんか。

## 持続的な市民サービスの提供に向けて

憩いの場や学びの場など、  
私たちの暮らしに潤いや彩りを与えてくれる公共施設。  
岡谷市にもさまざまな機能や利便性を持つ公共施設が数多くあります。  
しかし、施設の管理運営にかかる費用は毎年増えてきており、  
将来的に市民のみなさんの生活に影響が出てくることも考えられます。  
そこで、どうすれば限りある財源を最大限にいかし、  
本当に必要とされる市民サービスを提供し続けられるのかを検討し、  
このたび「公共施設のあり方方針案」としてまとめました。  
この案をもとに、今後の公共施設のあり方について  
みなさんと考えていきたいと思えます。

## 公共施設って？

公共施設は、私たちの健やかな暮らしをサポートしてくれるものであり、市民一人ひとりの豊かな生活に貢献することを主な目的としています。病院や教育機関はもちろん、岡谷市ならではの特色を持つカノラホール、イルフプラザ、テクノプラザおかやなど各種の公共施設は、文化振興や地域産業の発展など多方面にわたり大きな役割を果たしています。その一方、公共施設の管理運営に関わる経費が財政を圧迫してきており、市政を運営していく上で重要な課題となっているのです。

## 公共施設の運営費用が

## 市民の負担に…

生活環境の多様化や少子高齢化などの社会的な背景や国の三位一体の改革の影響など、地方自治体の財源確保は困難な状況にあり、岡谷市の財政状況も厳しいものとなっています。また、多くの方々に利用されてきた公共施設も、時代の移り変わりや価値観の変化に伴い利用者が減ってきたものや、市で管理する必要性が少なくなってきたものがあるのが現状です。その中で、より効率的な管理運営に取り組んではいるものの、公共施設の維持管理にかかる費用は将来の改修も考え合わせると、なかなか減少するものではありません。こ

### ◆今回見直しが検討された公共施設

1	おかや総合福祉センター（諏訪湖ハイツ）
2	岡谷健康福祉施設（ロマネット）
3	岡谷市保健センター
4	岡谷市岡谷駅前広場・買物広場
5	岡谷市中央町駐車場
6	岡谷市岡谷駅前自転車駐車場
7	岡谷市中央町アミューズメント施設
8	岡谷太鼓道場（鼓鳴館）
9	岡谷市文化会館（カノラホール）
10	日本童画美術館（イルフ童画館）
11	イルフプラザ商業活性化センター
12	イルフプラザカルチャーセンター
13	イルフプラザこどものくに
14	テクノプラザおかや
15	岡谷市勤労青少年ホーム
16	岡谷市勤労会館
17	岡谷市都市公園
18	岡谷市通園訓練施設まゆみ園
19	旧林家住宅
20	旧渡辺家住宅
21	岡谷市塩嶺野外活動センター
22	岡谷市民館（湊・川岸・長地）
23	市立岡谷図書館
24	市立岡谷蚕糸博物館
25	市立岡谷美術考古館
26	市営岡谷球場
27	岡谷市営射撃場
28	岡谷市民水泳プール（屋内）
29	岡谷市民水泳プール（屋外）
30	岡谷市民総合体育館
31	岡谷市民スポーツ広場（川岸・湖畔・今井西）
32	岡谷市営庭球場
33	岡谷市やまびこ国際スケートセンター
34	陸上競技場（東部中学校）
35	塩嶺閣
36	やまびこ公園ローラースケート場

のまま岡谷市にあるすべての公共施設を市が管理していけば、他の市民サービスを実施する費用が少なくなってしまうことが考えられます。

## よりよい公共施設のあり方を模索

このような状況をふまえ、市民総参加により平成18年2月に策定された「岡谷市行財政改革プラン」の中で、管理運営を含めた公共施設のあり方について見直しの必要性が挙げられました。そこで、平成18年度より庁内検討を進めてきました。

公共施設のうち、保育園、小中学校、病院、清掃工場、市営住宅、内山霊園、温泉スタンド、福祉作業所を除いた36の施設を

見直し対象とし、各施設の状況を客観的に把握するため、採算性と必需度、利用度、高コスト度、岡谷らしさ、目的達成度、他の施設への代替が可能か、防災拠点・経済効果といった二次的要素があるかの8つの項目について、評価判定しました。また、平成19年6月から公共施設のあり方検討市民会議を設置し、その報告を参考としながら、平成20年4月「公共施設のあり方方針案」をまとめました。

この案では、民営化や統合を含めて、廃止を検討する施設と、施設を存続させつつ、管理運営を見直す施設に分類しました。なお、管理運営を見直す施設には、引き続き検討する施設も含まれています。

この見直し案がすべて実施された場合、年間約1億6500万円の経費削減を見込



◆公共施設のあり方方針案

区分	施設見直し内容
廃止するもの (統合、民営化含む)	<b>1.施設の民営化</b> ①市営射撃場 団体等への施設譲渡が可能か検討する。譲渡が難しい場合は指定管理者制度へ移行する。その後、大規模改修が必要な時点で廃止する。 <b>2.施設の統合・廃止</b> ①やまびこ公園ローラースケート場 大規模改修が必要な時点で廃止する。 ②勤労青少年ホーム・勤労会館 諏訪湖ハイツ等の再整備により移転統合し、勤労者福祉の拠点として機能を付加した上で、現施設は廃止する。なお、再整備は利用者の意見を十分に聞くなかで実施する。 ③塩嶺閣 塩嶺野外活動センターに移転統合し、現施設は廃止する。統合にあたっては、小鳥の森を活用した事業の推進に特に配慮する。 ④屋外水泳プール 平成20年度をもって施設を廃止する。なお、屋内プールの施設整備を進め、快適な利用の促進を図る。
	<b>1.指定管理者制度の導入</b> ①市民スポーツ広場 ②市民総合体育館 ③市営岡谷球場 ④市営庭球場 平成20年度中に必要な事務手続きを行い、平成21年度より指定管理者制度を導入する。 <b>2.運営の効率化</b> ①予約等管理一元化 イルフプラザカルチャーセンター、諏訪湖ハイツ、勤労青少年ホーム、勤労会館、公民館、太鼓道場等の貸館施設について、使用予約の一元管理の導入を検討する。 ②陸上競技場 公認(～平成24年)を更新しない。なお、近隣公認施設の活用について検討する。 ③岡谷市文化会館(カノラホール) 市職員の出向について見直す。 ④日本童画美術館(イルフ童画館) 市職員の出向について見直す。
管理運営を見直すもの	<b>3.引き続き検討する施設</b> ①やまびこ国際スケートセンター スケートのまちづくりや市民の健康づくりを推進する「やまびこスケートの森」の中心施設であり、民間への施設譲渡や休止・廃止を含め、さらに検討を深める。その際、やまびこアイスアリーナの管理運営、第3セクターである(株)やまびこスケートの森の経営等、幅広い視点から検討する。 ②蚕糸博物館・美術考古館 新病院の建設、農業生物資源研究所の廃止に関連して検討する。 ③支所・公民館 地域の拠点施設として各区との連携を図る中で、付加機能を持ち合わせる総合的なコミュニティ施設として見直しを検討する。 ④岡谷健康福祉施設(ロマネット) 民営化(民間への施設譲渡を含む)について検討する。

んでいます。

岡谷市の輝く未来に向けて

今回の方針案は決定事項ではなく、あくまで一つのたたき台です。これをもとに、一つの施設について利用者や市民のみならず話し合い、岡谷市全体の公共施設のあり方について議論を重ねていきたいと思えます。しかし、夢のあるまちづくりや豊かな暮らしを実現していくためには、思い切った見直しを行わなければならないこともまた事実

です。将来の岡谷市がどうあるべきかを基本としながら、市民と行政が一体となって改革を推進していきたいと考えています。岡谷市の公共施設のあり方について、ぜひみなさんの声をお聴かせください。

なお、方針案についてのご意見を6月16日(月)までに電子メール、郵便、FAXまたは庁舎や3支所などに設置された意見箱にお寄せください。

FAX番号 24-00689

メールアドレス Kk@city.okayaganano.jp

問合せ ● 企画課 (内線1522)



統合・廃止が検討されている塩嶺閣(上)と勤労青少年ホーム(下)